

第17回運営推進会議 議事録

実施日 令和6年9月20日

議事録作成担当

リハビリデイサービスnagomi成城店 河野樹

●協議参加者（順不同・敬称略）

砧あんしんすこやかセンター：宇野 くるみ	タガヤセ大蔵デイ：是永 雅之
砧デイサービスセンター：小泉 貴宏	ほじえじステーションニ子玉川：佐々木 拓男
ひばりデイサービス砧公園：齊藤 ゆみ	ひばりデイサービス砧公園：高畑 歩香
グリーンデイ用賀：富田 洋平	リハビリデイサービスnagomi成城店：河野 樹
岡本自治会会長：荻野 壽一	砧町自治会会長：鈴木 清美
民生委員：鈴木 裕子	nagomi 成城店ご利用者：石井 榮一
砧町町会長：長島 日出男	

1.活動報告（各事業所の活動状況報告）※下段に活動報告書記載事項補足

●ほじえじステーションニ子玉川

半日(AM/PM)機能訓練特化型デイ

マシン5台（下半身・上半身・持久力）、平行棒歩行訓練。グループエクササイズ等による機能訓練実施。

定員15名(月～金)祝日も通常営業。

※平均利用者数570名。平均年齢86歳（最高齢：97歳）、平均介護度1.32。

事故発生件数1件（座位、ボールエクササイズ中、ボールを追って後ろへ転倒）

今後の予定：年1回の日帰り旅行はコロナ禍・感染予防の為、昨年までは中止。本年度は開催を検討していたが、開催は厳しいと判断。人数の少ない曜日に世田谷美術館へ行った為、折を見てまた行う場合もある。

●砧デイサービスセンター

利用者の平均年齢は88.1歳、平均介護度は2.37。

最高齢：101歳

利用定員：35名

体操・クイズなどのリハビリレクリエーションの他にご利用者が主体的に創作等の各種活動に取り組んでいただけるよう、書道・絵手紙・編み物、囲碁、将棋など自由な参加をして頂いている。

機能訓練は、機械を使用したものが主体。

※平均利用者数 328 名。事故発生件数 1 件。

要支援利用者で歩行介助・見守り対象になっていなかったが、1人でトイレに行った際に転倒。

→全利用者の「移動時対応分類」を見直すとともに日々の夕方ミーティングにて移動時分類対応を見直す。

今後の予定：毎月1回 理美容ボランティア、毎月1回 福祉ハンドネイル

※10月1日付で現行の通所介護事業から地域密着型通所介護へ移行。定員は35名→18名。

活動内容：趣味活動・リハビリに特化。趣味活動については曜日ごとに様々な活動を設けている。

●グリーンデイ用賀

1日型（入浴、リハビリ、外出）

お出かけイベントを毎週実施。

平均年齢：84歳、最高齢：99歳 平均利用者：378名。 利用定員：18名（土曜日：10名）

事故発生件数 転倒2件

1. 外出時にコンビニ駐車場の縁石につまずき転倒。2. 車いすの方が、床に落ちたハンカチを拾う際に転倒。

今後の予定

- ・御朱印めぐり（羽田神社、築地本願寺）～築地の卵焼き実食～
- ・ハングリータイガーでジューシーハンバーグを堪能して、箱根ターンパイクへ
- ・佐倉コスモスフェスタ
- ・しゃぶしゃぶとプリンロールケーキの旅

●タガヤセ大蔵デイ

10名/日、アットホームな施設

昼食は利用者で作成、園芸活動。月に3～4回の園芸クラブにて花の植え替えや野菜のお世話をしている。

平均利用者数 177.8人。平均年齢 84.03歳、平均介護度 3.05。

事故発生件数：誤薬1件

- ・普段は連絡帳に入っている薬が鞆の中に入っていたことで、チェック上からも抜けており服薬せずに帰宅。

今後の予定：月に一度、お茶菓子クラブ、季節のイベント食をご利用者と考えて実施。

コロナ対策の為、ボランティア受け入れは中止。

●ひばりデイサービス砧公園

1日型の地域密着型通所介護サービス。

少人数制を活かし、集団体操や認知予防トレーニング、口腔体操、集団レクリエーション、音楽療法、個別トレーニング、役割の構築などを行っている。

【運動・機能訓練】

集団体操、認知予防トレーニング、個別での機能訓練やマシン運動、歩行訓練など。

【レクリエーション】

「心を動かし身体を動かす」をテーマに園芸療法や音楽療法を取り入れたレクリエーションの他、「運動×レク」「季節を感じる料理・工作・年間イベント」年間イベントを実施。

【季節行事】

年間計画で実施。

【地域交流】

過去に防災クッキングの開催実績あり。

横根稲荷神社の夏祭りにご利用者と参加。

定員 18 名、 平均利用者数 374 名

平均年齢 87.8 歳 平均要介護度 2.9

事後発生件数4件（転倒：2件 誤薬：1件 その他：1件）

1.ゲームレク終了後、職員で机を移動させている最中、利用者同士で机を移動させてようとされた際にふらつき、窓にもたれるように座り込み転倒。（職員2名で机の移動対応中に、職員1名は事務所からの業務引き継ぎの音がかりフロアへの注意が損なわれた）

→利用者での机の移動は控えていただくよう徹底し、職員で対応。大気の際には、座ってお待ちいただく。転倒リスクを想定し、利用者の動きの多い時間帯は、対応が完了するまで他業務は後回しとする。

2.フロア内トイレから戻る際にふらつき転倒、頭・顔を床にぶつけ、頭部腫脹・こめかみの裂傷・出血・鼻出血・左眼瞼の腫脹が顕著。意識混濁なし。その後救急搬送となり入院の運び。

→認知症利用者のリスクマネジメントを行い、手元に歩行器を設置し、移動時に見守りができるよう連携を図る。（他利用者が使用してしまうため、歩行器が席から離れてあった。職員がおやつ準備や排泄介助で対象者の近くにおらず、ふらついた際に支えられなかった）

3.落薬：服薬は全て自己管理の利用者。昼食後薬の落薬を14時台に発見。主治医からはスキップで様子観察を指示。その後、体調にも特変なく、職員による配薬管理へと変更となった。

4.転倒事故のうち1件救急搬送。入院加療となるも入院中に死亡。

今後の予定：外部ボランティア導入調整。全社的な年間イベント行事（詳細は調整中）

●リハビリデイサービスnagomi 成城店

2023年5月から

リハビリストレッチ 生活リハビリ・ロコモ予防エクササイズ 脳活性化プログラムを提供。

- ・歩行サーキット利用（要支援、要介護の方実施可能。平行棒・段差・スロープ使用）
- ・個別機能訓練（要介護のみ実施可能）
- ・口腔機能訓練（要支援、要介護実施可能）

定員 18 名、 平均利用者数 530 名

平均年齢 85 歳 平均要介護度 1.48

事故発生件数 0 件

今後の予定：プログラムに大きな変更はなし。今後ご利用者様の健康維持・改善できるように運動プログラムを提供・自宅内でもできる体操をお伝えしていく。

【議題】 認知症ケア/プログラムについて 各事業所で行っていること・意見

ぼじえじステーションニ子玉川

・送迎時に聞き出した生活歴等の背景、情報から本人が豊かな気持ちになれる思いで等の会話対応、認知機能に個差が大きい為個別での対応法も変わることがある。複雑な事はしない、参加型レクリエーション形式のグループエクササイズ等で対応する場合もあり。

砵デイサービスセンター

・特別なプログラムは特に実施していないが、呼び方・話し方・性格・生活に合った語り掛け方、ご利用者に合わせた個別対応。

グリーンデイ用賀

・特別認知症のプログラムの提供はないが、1日のプログラムを行うことが認知症ケアになる。席配置を考えて行うこと、ご利用者に合わせた個別の対応やスタッフとの信頼関係をつくることが一番の認知症ケアになる。

タガヤセ大蔵デイ

・昼食を極力全員で作るようにしている。野菜を切る・お皿の準備・盛り付けなど個別性に合わせて準備をお願いするなど個々の役割を大切にしている。自立支援として箸や湯呑を取っていただく・片付けの際にお盆にのせてもらうなどしている。認知症ケアとして活動内容は違っても活動を始める時間・終わる時間は同じように意識して行っている。

nagomi 成城店

・傾聴重視、否定はしないように徹底。自分で出来る事は行ってもらう、座席の固定はしない、コミュニケーションを促すようにしている。脳活性化プログラムにて認知症ケアへ繋げていけるようなプログラムを全10種類用意。動作を考えることで身体機能の安定や向上を目的として行っている。ただ漠然と身体を動かすより、どうやって身体を動かしているのかイメージ・イメージ通り身体が動くかどうかを確認していただくようにしている。

ひばりデイサービス砵公園

・高齢化が進むことによって物忘れや異なった行動をとることもある。今後も各事業所で定期的に情報交換を行うことで顧客満足度へつながるのではないかと。

2. 各自治会長様、民生委員、事業所間での質疑応答、ご意見、共有事項等

●質問

鈴木会長(砧町自治会)

Q：落薬の対処法や飲み忘れが発覚した際の対応方法について

A：ひばりデイサービス砧公園→自己管理と施設管理。連携している診療医に相談している。管理方法の変更等もあり。

タガヤセ大蔵デイ→数日後に発見だった。主治医、CMへ報告、相談。指示を仰ぐ。

●運営推進会議の感想や意見

石井様(nagomi 成城利用者)

勉強になった。

荻野様(岡本町会長)

ハナミズキ等他の会合にも月1回参加している。年齢を重ねて運動機能の低下なのか、認知症によるものなのかの判断が難しいと感じた。認知症がどの機能に影響があるのか、大変だと思う。

鈴木様(砧町自治会長)

1人ひとりの手厚い対応を聞いて、大変なことを行っていることでスタッフの方はストレスが溜まらないのだろうか？是非ストレス発散してほしい。

鈴木様(砧3丁目民生委員)

義理の母が十数年前の話。要介護3、以前友愛にお世話になった。動く気力・食べる気力もない状態で受け入れてくれて、家族としては助けられた。

長島様(砧町町会会長)

事故を0にする事の難しさ。大変だと感じます。父親、4年看病。自分の経験からも大変さがわかる。核家族化によりデイの存在は助かる。ストレスを解消してほしい。

■まとめ(あんしんすこやかセンター：宇野様)

条例で決められた会議は貴重。地域に開かれた資源になっている。デイサービスに対して昔ながらのイメージを持っている方が多いが現在は様々な特色があるデイサービスがあることを伝えている。

生活歴、大切にしてきたこと・自分がやりたいことなどの人生観があるとおもう人員の少ない中対応することは大変かと思うが、議題で認知症ケアを取り上げていたように参加者の意見や各事業所のアイディアを聞きながら工夫できること、町会の方からご意見があったときには声掛けしていただけるような顔なじみの関係作りが進んでいくのではないかと。

幹事の施設では無くても良い。運営を行う各事業所で連携をとりながら会議の内容の充実度を図りたい(質疑応答の時間を長く取るなど)。

令和6年10月1日

次回開催：R7.3月未明

幹事：河野樹（nagomi 成城店）

司会：齊藤ゆみ（ひばりデイサービス砧公園）

書記：佐々木拓男（ぼじえじステーション二子玉川）